



新年号

発行所
水戸市千波町1918番地
茨城県総合福祉会館内
公益財団法人茨城県消防協会
編集発行人
消防協会長 葉梨 衛
印刷所
富士オフセット印刷(株)
1部 15円
(購読料は年会費に含まれています)

年頭に寄せて



公益財団法人
茨城県消防協会 会長 葉梨 衛

平成二十七年の輝かしい新春を迎え、消防関係者の皆様に謹んでご祝辞を申し上げます。

消防団員・消防職員の皆様方には、常日頃から、地域住民の生命・身体・財産の保全のため、火災を始めあらゆる災害に対し、昼夜を分かたず、献身的に職務に精励されておりますことに対し、心からの敬意と感謝の意を表するものであります。

また、消防関係諸団体の皆様方には、消防防災に対する深いご理解のもと、熱心にご活動されていることに対し、深甚なる敬意を表する次第であります。

我が国の消防は、常備消防と呼ばれる消防本部と消防団の二つの組織がそれぞれ特徴を活かして連携協力するという世界に誇れる消防体制であります。

また、消防の起こりは、消防団の起源

である江戸時代の將軍徳川吉宗の時代につくられた町火消しに発するといわれており、諸先輩方々や関係者の皆様方のご努力により、組織・設備の両面において着々と消防は充実強化されるとともに、結束を重んじ、勇猛果敢に公共のために献身的に尽くす精神は、時代の変化に際しながらも今日の消防に脈々と受け継がれてきましたことは、誠に同慶の至りでございます。

今日、消防の任務及び活動は、火災予防、警防、救急救助をはじめ、地震や風水害などの自然災害への対応等広範囲にわたり、さまざまな場面で地域住民の安心・安全確保に大きな役割を果たしているところでございます。

しかしながら、一向に減ることのない火災や自然災害に対し、地域住民の安全・安心に対する意識が益々高まってき

ており、消防の責務も又一段と重要性を増しております。

さらに、東日本大震災をはじめ局地的な豪雨等による災害が頻発するなか、地域における防災活動の担い手を十分に確保することが困難となっていることに鑑み、平成二十五年十二月には、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」という、これまでにない画期的な法律が成立したところです。

この法律では「消防団が将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在」と規定し、消防団員の確保や確保するための国や地方公共団体等の責務を明確にすることにより、地域防災力の充実強化を図り、もって住民の安全の確保に資することを目的とした法律であり、改めて、地域防災力の充実強化をより一層推進していかなければならないと考えております。

本協会といたしましても、消防の持つ使命の重要性を深く認識し、県民の「安全・安心の確保」のため、今後とも各種事業を積極的に推進して参る所存でございます。

特に、平成十九年度の理事会・評議員会で決議いたしました「女性消防団の結成促進に向けた取組み」につきましては、各消防団長さんをはじめ、関係者の皆様の熱意とご努力により、着々と実績を上げてきており、その数は昨年十月現在で三十八団(女性団員数五百二十名)となり、今後も発足の動きが見られます。

どうか皆様におかれましても、心新たに「安全な地域づくり」のため、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、皆様方とご家族様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

新年のご挨拶



茨城県知事 橋本 昌

平成二十七年の新春を迎え、消防関係者の皆様に謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、日頃より、崇高な消防精神と強い使命感のもと、火災をはじめ各種災害から地域住民の生命や財産を守る

ため、昼夜を分かたず献身的なご尽力を頂いておりますことに、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

また、葉梨会長さんをはじめ茨城県消防協会の皆様方におかれましては、消防・防災技術の向上と消防団の組織強化を図るため、茨城県消防ポンプ操法競技大会地区大会や茨城県消防大会、茨城県女性消防団員活性化大会など各種事業に積極的に取り組んでいただいておりますことに対し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、地球温暖化に伴う異常気象等により、災害の態様も大規模化・複雑化の傾向にあり、昨年も、全国各地で大規模な自然災害が相次いで発生し、また、今後は首都直下地震などの大規模災害の発生も危惧されております。

一方、少子高齢化の進展、被雇用者の増加等の社会経済情勢の変化により、地域における防災活動の担い手を十分に確保することが困難となる中、災害が発生したときに少しでも被害を少なくし、一人でも多くの命を救うためには、地域の防災力を高めていくことが重要であり、消防関係者の皆様方には地域防災の要として、これまで以上に期待が寄せられているところとす。

県といたしましては、東日本大震災の経験を踏まえ、昨年三月に「茨城県地域防災計画」を改定しますとともに、市町村をはじめとした関係機関との通信手段の強化を図るため、平成二十八年度の運

用開始に向けて「防災情報ネットワークシステム」の再整備を進めますほか、市町村が行う消防救急無線のデジタル化や指令センターの共同整備を支援するなど、災害に強い県土づくりや防災体制の強化を図っているところです。

さらに、地域防災力の中核である消防団の充実強化を図るため、若者や女性並びに公務員の入団促進、消防団員の処遇改善などに努めますとともに、国の経済対策に係る交付金を活用して、市町村が行う消防団の安全確保のための装備の購入等について支援していきたいと考えております。

皆様方におかれましては、年頭にあたり、消防人としての使命と、その職務の重要性を改めて認識され、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご健勝とご活躍をお祈りいたしまして、新年のあいさつといたします。



平成二十六年年度
支部別消防団長等
懇談会を開催

恒例の支部別消防団長等懇談会が、昨年十二月に県南北部支部、年明け一月から残る五支部で順次開催されました。

出席者は、消防団長をはじめ消防長、消防主任並びに県から消防安全課長、消防学校長及び同職員、協会事務局です。

(開催日程)

○県南北部支部 五市
平成二十六年十二月十五日

つくば山水亭

○県南南部支部 九市町村
平成二十七年一月十五日

河内町役場

○県北支部 九市町村
平成二十七年一月十六日

ひたちなか・東海広域事務組合
消防本部

○県央支部 六市町
平成二十七年一月二十三日

茨城町消防本部

○鹿行支部 五市
平成二十七年一月三十日

神栖市保健・福祉会館

○県西支部 十市町
平成二十七年二月六日

グリーンパレス飛鳥

議題

(一) 茨城県消防ポンプ操法競技実施要領の改正

(二) 消防団員の確保

(三) 平成二十七年消防学校教育訓練計画案の概要

(四) 平成二十七年日本消防協会主要行事

(五) 日本消防協会の火災共済及び個人年金等

懇談会は、まず消防安全課から、茨城県消防ポンプ操法競技実施要領の改正及び消防団員の確保について、続いて県立消防学校から消防学校の教育訓練計画について、それぞれ説明を頂きました。

最後に、平成二十七年日本消防協会主要行事、同協会の火災共済及び個人年金等について、遠藤事務局長から説明しました。

いずれの会場でも、限られた時間の中で有意義な情報交換が出来たものと思われれます。



常総市 (1/11)

平成二十七年
消防出初式

新春を飾る消防出初式が、一月四日から十三日までの四日間を中心に県内各地で挙行されました。今回は、常総市、ひたちなか市及び大子町消防出初式の様子をスナップ写真でご紹介いたします。



ひたちなか市 (1/11)



大子町 (1/12)

日本消防協会主催
消防団幹部特別研修

日本消防協会主催による第四十一回消防団幹部特別研修が、平成二十七年一月十三日から十六日まで、三泊四日の日程で実施され、本県からはかすみがうら市

消防団の磯部潤一副団長が参加されました。

ここに、磯部副団長からの寄稿文をご紹介します。

「消防団幹部

特別研修」に

参加して

かすみがつし市消防団

副団長 磯部潤一



この度、日本消防協会主催の第四十一回消防団幹部特別研修に茨城県代表として参加させていただきました。全国の消防団幹部の皆様と研修を受ける機会を与えていただき感動と期待に胸を膨らませ参加いたしました。

この研修は、消防団の災害対応能力の向上と活性化を図るため、上級幹部に対し各種教養を行い消防団の指導者を養成する研修であり、三泊四日の日程で実施されました。

初日は、日本消防協会 秋本敏文会長より消防団を中核とした地域防災力の充実強化、地域消防を巡る最近の動向につ

いてなどの講話をいただき、その後、研修生による課題研究討議を行いました。私の班は、消防団員の確保について検討しました。その後の意見交換会では、秋本会長・坂本消防庁長官に同席していただき大変有意義な時間を過ごすことができました。

二日目は、消防庁危機管理センターを視察し、消防行政の現状と課題・防災対策の講話を受け、消防団は、将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在であると再認識することができました。

その後は、危機管理について図上訓練等を実施し、災害時の状況予測について学びました。

三日目は、災害情報学、惨事ストレス、消防団実務、日本の救急医療の問題点についての講話があり、凄惨な災害現場では、職団員、被災者などが災害に関わる事によって計り知れないストレス障害を受け、多くの方々が苦しんでいるとの話に、災害に対して憤りを感じました。

また、東京消防庁第二消防方面本部消防救助機動部隊の視察もあり様々な最新の資機材を見学しました。

最終日は、消防団活動事例についての講話があり、初日の課題研究のまとめとして六班がそれぞれの課題について発表しました。私の班は、消防団員の確保対策について討議したので、他県の消防団で実施している確保対策やそれに伴う問題点など、大変参考になる検討会でした。

この四日間の研修に参加して各講師の身になる講話や四十六人の幹部の皆さんと各消防団の活動など様々な話ができたことは、私の消防団活動に大きな影響を与え後輩の育成などに力を入れなければならぬと消防団幹部の責任の重さを痛感させてくれました。

今後は、この研修を生かし県・市町村と協力し災害に対する備えを強化し、消防団はもとより地域住民と協力して、災害に強いまちづくりを目指したいと考えております。

最後に、公益財団法人茨城県消防協会 葉梨会長をはじめ県内各消防団の益々のご発展をご祈念申し上げますと共に特別研修に携わっていただきました公益財団法人日本消防協会の皆様にお礼を申し上げます。

編集後記

明けましておめでとうございます。本年も協会の行事等にご協力とご理解を頂きながら進めてまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

なお、皆様からの寄稿文や様々な情報を心よりお待ちしておりますので、是非、ご連絡ください。

また、広告掲載を募集しております(掲載料・掲載一回税込み五千四百円、掲載サイズについては誌面四頁の掲載広告を参照して下さい)。是非、ご連絡ください。(き)

全国シェアNo.1の消防車メーカー
(株)モリタの各種消防自動車
 常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目
 小型動力消防ポンプ・消防用ホース
 救助資機材・潜水機材・消防用被服
 防災用品・消防用品・消防資機材

茨城県代理店
有限会社 鈴 機

〒315-0014 石岡市国府5-2-25
 TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

Panasonic
 自動火災報知設備
 非常電源設備
 自家発電設備
 CVCF設備
 FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店
株式会社入江電機工業所

本社 〒310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号
 TEL.029-224-4614 (代表)
 FAX.029-224-4613
 千波営業所 〒310-0851 水戸市千波町海道付2027番地
 TEL.029-241-3636 (代表)
 FAX.029-244-0540
 土浦営業所 〒300-0061 土浦市並木1丁目2番20号
 TEL.029-821-8498 (代表)
 FAX.029-822-6575

トーハツ 小型 消防 **ポンプ**
 充実のVシリーズ

V75ESからV10Fまで
 豊富な機種でお客様のご要望にお応えいたします。

消防ポンプ自動車 消防用ホース
 消火器 消防服装
 消防資機材用品一式

茨城県代理店
トキワ産業株式会社
 水戸市東原3-6-24
 TEL.029 (224) 3324(代) FAX.029 (224) 3360